

## 令和3年度 第5回

### 10月 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日 時：令和3年10月25日（月） 15:00～16:00

場 所：外来棟7階多目的ホール

出席者： 委員長 豊嶋英明

委 員 八谷寛、服部一郎、村上健次、櫻井香、松原徳和、鷺見幸彦、  
新飯田俊平、伊藤眞奈美

出席委員数/全委員数： 9人/11人

審議事項

申請課題数：新規申請課題 2件

その他審議事項は特になし

#### 申請課題について

|       |  |
|-------|--|
| No. 1 | <p>受付番号：1552</p> <p>課 題 名：移乗支援ロボット介護機器の使用有無における被介護者の表情の調査</p> <p>申 請 者：近藤 和泉</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。）<br/>〈条件〉</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 研究計画書&gt;「9.個人情報等の取り扱い」において、匿名化の時期について、「可能な限り早期」をもう少し具体的に記載してください（例 取得後2日以内など）。</li><li>2. 説明書&gt;「10.個人情報等の取り扱い」において、匿名化することを明記してください。</li><li>3. 本研究は移乗支援ロボット介護機器を2機（Hugとリショナーネ）使用することになっているようですが、2機の割り当て等はどのようにされるのでしょうか。除外基準等もHug はあるようですし、被験者への説明書も2通別々にあるので、</li></ol> |
|-------|--|

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>利用者はどちらか一つで行うようにも思えます。</p> <p>また、選択できる場合はどちらかの機器に集中しないように工夫はされているのでしょうか。</p> <p>4. 研究計画書&gt;「8. インフォームドコンセントを受ける手続き」において、代諾は家族に限定されたら如何でしょうか。文章中にある「それに変わるもの」は具体的に指定してください。</p> <p>また、インフォームドアセントを得る場合の手続を研究計画書に追記してください。</p> <p>利益相反審査結果：非該当で承認</p>  |
| No. 2 | <p>受付番号：1558</p> <p>課 題 名：認知症介護者への ICT を用いた集団支援の非劣性試験</p> <p>申 請 者：竹内 さやか</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <p>1. 認知症患者本人の情報を電子カルテで収集すると記載があります。介護者だけでなく認知症患者本人の同意もしくは代諾が必要と考えます。代諾を認める場合、代諾者からインフォームドコンセントを受ける手続やインフォームドアセントを得る場合の手続を研究計画書に追記してください。</p> <p>2. 研究計画書及び説明書に、研究により得られた結果等の取扱いを追記してください。</p> <p>利益相反審査結果：非該当で承認</p> |